

イアン H.S.ライズリー R I 会長テーマ “ROTARY: MAKING A DIFFERENCE” — ロータリー：変化をもたらす —



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

片山 勉
(大阪東RC)

今年度、第2660地区ガバナーを務めさせていただきます大阪東RCの片山でございます。どうぞよろしくお願い致します。当地区は日本34地区の中でも伝統と実績を誇り、由緒ある素晴らしい地区です。この地区のガバナーに就任することは、身に余る光栄であり、パストガバナーを始め、皆様方が築き上げられました地区を一層発展させる為に、誠心誠意努力する覚悟でございます。

私は昨年国内で3回にわたるガバナーエレクト研修、そして今年1月にアメリカ・サンディエゴで開催されました国際協議会で研修を受け、ガバナーとして準備をして参りました。

今年度のRI会長はオーストラリア・サンドリングムRCのイアンH.S.ライズリー氏です。公認会計士として事務所を経営され、ロータリーではRIをはじめ、地区やRCで様々な要職を歴任してこられています。

2017年国際協議会の第一回本会議で、イアンH.S.ライズリーRI会長はテーマ講演において、自らの経験と思いを情熱的に語られ、本年度のテーマ「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ～ロータリー：変化をもたらす」を発表されました。

ロータリアン・ロータリークラブ・地区・地域・国の特性を活かして、積極的に奉仕活動に参加することが地域社会に変化をもたらし続けると述べ、「ロータリーとは何ですか」という問いに「どのような団体か」ではなく「何をしているか」で定義されるという要約であります。

地域社会の特性とニーズをクラブの奉仕活動に映し出すことに力を注ぎ、将来の計画(あるべき姿)・成果の持続可能な奉仕・全レベルでのリーダーシップを継続して実行し、奉仕を通じて人々の人生や地域社会と世界に変化をもたらすと信じていると述べておられます。

そのうえで、重要項目としてロータリー戦略計画の3つの優先項目(クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、ロータリーの公共イメージと認知度の向上)を示され「これらにかかわる目標を達成するクラブは発展し、地域社会に変化をもたらします」と結び、今年度の会長賞はこれらの優先項目を支える活動をしたクラブを表彰すると決定されています。

そこで私は2017-18年度 第2660地区ガバナースローガンを **個性を活かし、参加しよう** とさせていただきます。日本のロータリーを取り巻く環境は色々な側面で厳しいものがありますが、何もしなければこの局面から抜け出すことはできないでしょう。まずはマイナス思考からプラス思考に意識を向けなければなりません。

そのうえで5つの具体的目標を掲げさせていただきます。

①基本理念と奉仕活動の実践

私達が考えるべきことは、ロータリーの「理念」と「奉仕活動」のバランスがとれた両立であり、信頼(信用)に裏付けられた人との繋がりによる親睦と職業奉仕を中核の価値感とした奉仕活動をロータリアンの個性を活かし参加し、地域社会の特性やニーズに合う奉仕活動をこれまでの慣習にとらわれることなく立案・実行し、大きな成果・持続可能な成果に結びつけることが重要です。

②戦略計画(3～5年の将来構想)の推進

魅力のある・元気のある・個性のある クラブであり続ける為に、クラブはどうあるべきかを考え、課題を把握・分析し、中期計画の立案と実践方法を検討し実現しなければなりません。これは単年度では達成できないこともあり、継続できる仕組みを取り入れるべきでしょう。そして、クラブ内で「ビジョン・スキル・ストーリー・スケジュール」を共有しなければなりません。

③(財)米山記念奨学会設立50周年

米山記念奨学会は米山梅吉氏の「世界に良いことをしよう—何ごとにも人にして欲しいと思うことは人にもその通りにしよう(Service Above Self)」の思いが形になったものです。

2017-18年度は日本独自の奉仕活動としてその実績を世界から評価されている(財)米山記念奨学会の設立50周年目にあたります。現在、記念事業が企画中ですが、決定されましたら皆さんと共に祝い、参加しましょう。

④ポリオ撲滅

ポリオ撲滅は今、ラストスパート地点にいますが、世界にポリオフリーと認定されるにはポリオの新規症例ゼロが連続3年間を経る必要があります。ロータリー財団が世界に誇れる最大のプロジェクトの目標達成にむけ、これまでと同じようにご寄付をお願いします。

⑤公共イメージ向上

公共イメージ向上には2つの視点があります。

「マイロータリー登録率50%達成目標」と「ロータリークラブの認知度の向上」であります。

まず「マイロータリーの登録率50%達成」が必要な理由は、IT技術の進化により、全ての情報が瞬時にマイロータリーから発信され、ペーパーレスの時代になっている現状があるからです。

次に「ロータリークラブの認知度の向上」ができれば、ロータリアンが充実感・感動・誇りを共有でき、会員基盤の強化・会員増強にも繋がります。

会員増強は色々な活動による成果であり、目的ではありませんが、何もしなければ会員は増えずクラブの活力が失われます。会員維持・会員勧誘をおこたると明るい未来は築けないでしょう。

最後にポールハリスは「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命的にならなければなりません。」と言っています。

皆さんと一緒にクラブ・地区が魅力のある・元気のある・個性のある明るい未来を実現できるように、そしてロータリーライフを楽しいものにして参りましょう。

2017-18年度の年次寄付年間目標

1. ロータリー財団年次寄付	1名あたり	\$ 150	
2. ポリオ撲滅	1名あたり	\$ 50	計 \$ 200
3. ベネファクター	各クラブ	1名	
4. 米山記念奨学会	1名あたり	30,000円	
5. 会員増強	各クラブ純増	2名	
6. マイロータリー登録率	50%以上		



国際ロータリー
第2660地区 ガバナー プロフィール

片山 勉 (かたやま つとむ)



生年月日 1944年11月10日生

職業分類 プラスチック製品

職 業 紀伊産業株式会社 取締役会長

所在地 〒541-0053 大阪府中央区本町1-3-20

経 歴

1967年	甲南大学経済学部	卒業	
	同光貿易株式会社	入社 (現 (株)DOKO)	
1970年	紀伊産業株式会社	入社	
1976年	同	取締役	
1988年	同	代表取締役社長	
2016年	同	取締役会長	現在に至る

ロータリー歴

大阪東RC入会	： 1994年1月20日
1997-98年度	世界社会奉仕委員長
1998-99年度	幹事 (理事)
2000-01年度	国際奉仕委員長 (理事)
2002-03年度	S A A (理事)
2004-05年度	副会長
2005-06年度	会長エレクト
2006-07年度	会長
2008-09年度	I M第6組 I M実行委員長補佐
2012-13年度	会員組織委員長 (理事)
2013-14年度	S A A (理事)

第2660地区

2003-04年度	地区幹事
2008-09年度	社会奉仕委員会副委員長
2009-10年度	社会奉仕委員会委員長

その他

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
メジャードナー
米山功労者 (メジャードナー)